

第2回コーディネーター一部会会議 記録

日時：令和5年1月26日（木）午前10時00分～午前11時30分

場所：刈谷市役所 301会議室

出席者

団体名・役職等	氏名
愛知教育大学 教授	大村 恵
刈谷市小中学校長会	尾出 知子
刈谷市自治連合会	杉本 常男
文化工房かりや 代表	久保田 富士子
刈谷市ボランティア連絡協議会 副会長	矢田部 寿子
一般公募	大野 裕史

欠席者

団体名・役職等	氏名
株式会社おたより 代表取締役	塚本 裕晶
一般公募	及川 裕太

事務局

所 属	補 職 名	氏 名
市民活動部市民協働課	課長	渡部 貴美子
市民活動部市民協働課	課長補佐兼協働推進係長	小原 崇照
市民活動部市民協働課	主事	内藤 佑佳
市民活動部市民協働課	主事	江上 百花
NPO法人ボランタリーネイバーズ	副理事長・調査研究部長	三島 知斗世
NPO法人ボランタリーネイバーズ	理事・事務局長	遠山 涼子
NPO法人ボランタリーネイバーズ	事務局	加古 麻理江

1 開会・あいさつ

- ・定刻になり、課長補佐兼協働推進係長が開会を宣した後、資料確認を行った。（略）

2 議題

(1) 部会長あいさつ

- ・部会長より挨拶が行われた。
- ・まちづくりコーディネーターの今後の課題、取り組みについて協議したい。市民協働という枠だけではなく、教育や防災など、縦割りになっているところを横につなぐコーディネーターについて議論する必要がある、みなさまのご意見をいただきたい。

(2) まちづくりコーディネーターについて

■【資料1-1】を提示し、まちづくりコーディネーターについて事務局が説明（令和4年度の活動実績）

- ・まちづくりコーディネーター（以下まちコ）とは、地域の課題を「自分ごと」として考え行動し、ボランティアや市民などをつなぐお手伝いをする「まちのお世話役」である。

ア：派遣：8件

- ・住民会議やコーディネーター一部会に係るヒアリング、市民団体の実行委員会のファシリテーションなど。地域の活動は再開しつつあるが、コロナ以前は13件ありコロナ禍の影響が出ている。

イ：まちコゼミ：全8回開催 【資料1-3】

- ・大野ゼミ（全5回）

まちコのスキルアップを目的に開催。まちコから、Zoomの利用方法を教えてほしいという依頼から始まり、現在はGoogleの機能についてレクチャーしている。チーム内のカレンダー機能の利用、まちコに関するスケジュールを共有できるように進めている。今後、アンケート集計機能の効果的な活用を取り上げる予定である。開催時期は毎月実施している。1月20日(金)に、第6回を開催(参加3名)。

・塚本ゼミ(全3回)

つなぎの学び舎での企画を実施することを念頭に開始。4月には、まちコ6期生が中心となり意見交換を行った。5月は住民会議のファシリテーションについて、8月にはファシリテーションの意見交換を実施した。1月23日(月)に、まちコ1名から、これまでのまちコの歴史をふりかえる内容を行った。(参加4名)

ウ:交流会:1回【資料1-2】

・12月10日(土)に実施し、まちコ6名、世話人2名が参加。塚本ゼミ、大野ゼミ、「これまでのまちコ活動について」を話題提供として開催した。

エ:まちコ育成講座「つなぎの学び舎」

・「実践編 みんなの対話お助け隊コース(全5回)」を9月11日(日)に最終回を迎えた。

・「実践編 まちづくり活動お助け隊コース(全5回)」は、10月1日(土)から開講。12月末時点で、第3回まで実施。現在、6名が受講中である。

■質問・意見交換

(まちコ派遣以外での活動)

部会長) まちコに登録し、実働している人数は何人か。

事務局) 登録は31名。実働としては、10名弱である。派遣には参加できるがゼミには参加できないなど、出欠状況は様々である。まちコとしての活動は行っておらずとも、まちづくりの活動は行われている。

委員) まちコ活動には、予定が合う際に参加しているが、年1回程度である。所属する文化工房かりやでは、音楽と読み聞かせの活動をつなぐ等、コーディネーター的な活動も年4回程度実施しており、まちコで学んだことを活かしている。

事務局) 市では、市から依頼したまちコ活動を派遣回数としている。まちコ自身の活動については集約できていないが、塚本ゼミにて活動状況の共有を行っている。

部会長) 塚本ゼミのように、個々のまちコの活動を集約できると良い。交流会では活動共有ができるのか。

事務局) 以前、まちコの活動を共有する企画(収穫祭)を交流会で行ったが、市から依頼されていない活動が多かった。今後、情報共有できる機会があると良い。

委員) 学び舎への参加は、自分の活動をよりスキルアップしていきたいという思いから参加している人が多い。派遣活動だけではなく、市内各所でまちづくり活動が広がっていくと良い。

部会長) コロナ禍の影響があると思われるが、まちコの活動を知る機会があると良い。実働のない3分の2は実態が聞けていない状況である。

委員) インターネット上のまちコ・ルームは、それぞれの活動を共有することはできる仕組みだが、活用されていないのが現状である。投稿する活動情報が増えると良い。

部会長) まちコ・ルームを委員会メンバーが見ることができると良い。次回まで2か月ほどあるが、この1年ならびにコロナ禍3年間の活動を調査してはどうか。回収率は問わない。

委員) 回答があったものから活動内容をまとめ、まちコへ共有することで、回収率を高めていくと良い。

(つなぎの学び舎受講者のまちコ登録者数)

部会長) 現在受講している方の登録者数はどのようになっているか。

事務局) コロナ禍の影響により、1年毎に行ってきた基礎編と実践編の開催時期が変動している。今期は、実践編を前期・後期と行っており、前期9名のうち、4名が基礎編を受講済。5名は実践編からの参加。前期9名のうち、3名がまちコに登録し、後期も受講中の方は2名で、1名は辞退した。次年度は、基礎編を実施する予定である。

事務局) これまで実践編修了者は、9割程登録していたが、コロナ禍の影響で修了時期がわかりにくくなった。実践編の受講者が継続して基礎編を受講し修了すると、登録につながるのではないかと。

(まちコへの派遣依頼)

委員) 資料1-1に記載している、まちコ活動派遣実績「小山自治会勉強会」については、自治会からの依頼により、まちコが2名参加し、同席した。当日は約30名集まり、それぞれの地区からの課題を持ち寄り話し合った。2月18日(土)にも派遣依頼を受け、勉強会を実施する。とても積極的であり、次年度の会長や組長を対象に再度実施したいという話である。このような派遣依頼は、元気交付金の申請を向けた住民会議とは違う新しい形である。各自治会に対してアピールできる機会があると良い。

部会長) どのような経緯から依頼があったのか。

事務局) 自治区長、公民館長の合同研修会にて、元世話人の方からまちコに関する活動を紹介いただいた。その話を受け、依頼へとつながった。

部会長) 実施報告をどのように展開するのか。広報に掲載することも可能か。

事務局) 広報に掲載することを踏まえ、検討する。

部会長) まちコがどのように動いたのかを知りたい。派遣当日に向け、事前打合せはどのように行っているのか。また、派遣だけではなく事前打ち合わせも出勤回数に入れてはどうか。

事務局) 事前打ち合わせを2回行っている。他の派遣内容も含めて、修正する。

(3) ■【資料2】を提示し、コーディネーターのネットワーク化について事務局が説明

(共存・協働のコーディネーターを刈谷市で育てていくために)

- ・平成21年度推進委員会の協議により、コーディネーターを育てる3つの方策を策定した。方策1：まちコの登録制度、方策2：つなぎの学び舎により実践したが、方策3：ネットワーク化は未着手である。
- ・まちコの他にも「コーディネーター」の役割を担う人を顕在化し、コーディネーター同士のネットワーク化を検討する。

(成果イメージ)

- ・コーディネーターの存在が顕在化し、コーディネーター同士が接点を持つことを通して、まちコの活動の周知が進み、まちコのすそ野が広がること。
- ・コーディネーターの活動や経験を学ぶ場を設けることで、まちコの知見が広がり、またまちコの活躍の機会が広がること。

(資料2：まちコのネットワーキングに関わるヒアリング)

- ・刈谷市商工会議所青年部とは、25～50歳の経営者・役員が所属し、ビジネスを中心に異業種交流会や地域貢献、政策提言を行っている。青年部内の実行委員会が主催するカリフェス（スポーツを中心とした複合イベント）は夢ファン্ড活用実績がある。
- ・まちコとの連携に対する期待として、市との連携をつなぐ役割、ファシリテーター、会員にはPTA役員や自治会長などを担っている。地域に関わる人のコミュニティを活かした連携のヒントを探る。

■質問・意見交換

(商工会議所青年部との連携)

部会長) 今回のヒアリング目的は、カリフェスとまちコの連携としていたが、今後の展開を聞きたい。

事務局) 前向きなご意見をいただき、連携することができればと考えている。だが、補助金の関係性を考慮し、刈谷市からの派遣という形については検討する必要がある。

今後、まちコに対してヒアリング内容を共有する。まちコ自身がどのような形で関われるか、検討する。

部会長) 今後カリフェス等に参加することについて、どのような議論ができるか。

事務局) 今後、ネットワーク化や連携について交流会で行うのか検討している。また、青年部では地域で様々な活動を行っている。一会員として、地域の組単位など小さな単位にてまちコと交流する機会があると良いのではないかと考えている。

委員) 商工会議所や青年会議所は、技術的なノウハウを持っている人がたくさんいる。それぞれの特徴を活かしてマッチングできると良い。例えば、掲示板を活用しマッチングを行っても良い。

(ネットワーク化の今後)

部会長) まちコのネットワーク化について、次年度の可能性を聞きたい。また、ヒアリングを交流会など既存のイベントに重ねて実施することはできないか。

事務局) ヒアリングを通して、まちコ活動と地域がつながる可能性が見出されてきた。まちコ活動の場として見出せないかと思い、ヒアリングを実施してきたが、今後はこれまでヒアリングした内容から実際に具現化できるように検討していきたい。

委員) 交流会については、まちコの定義をどのように捉えるかである。地域活動・市民活動を2年以上にわたって推進してきた方など、一定の条件を満たせばまちコに登録することができる。青年部や青年会議所、自治会の役員など、まちづくり活動を行っている方は多数いる。まちコを大きな枠と捉え、話し合うことで広く意見交換ができる。

事務局) 交流会に、ゲストとして話題提供をしてもらい、テーブルごとに分かれ「どのようにネットワーク化するのか」を協議することで、交流会にもなる。また、話し合った内容をまとめることで、ヒアリングとすることができる。

部会長) ヒアリング内容は、まちコへ周知していく場も必要である。各課でコーディネートの役割をしている人が集まる場を設けられると良い。出会う場面を直接つくることでネットワークの広がりにつながる。防災関係のヒアリングができなかったことは残念である。

(地域でのコーディネーターの必要性)

部会長) 重層的支援体制を検討する際に、子ども支援だけではなく親支援や就労支援など、多面的に子どもと家庭を支える形となっている。同時に地域の力も必要である。お互いに関係し合い支え合う地域づくりが課題となっている。地域学校協働活動が全国で進められているが、市内小学校15校中、4校がモデル実施で展開している。まちコも参加してもらおうと、活躍できる場面があるのではないかと。それぞれで動く活動であるため、縦割りとなってしまうところをまちコが横につなぐ役割ができると活動場所が広がっていく。

委員) どの学校も、コーディネーターをどのように選んでいくのか悩んでいる。次年度開始する学校はコーディネーターが決まっているが、翌年度に向けてまちコの活動を校長会等の機会に紹介するなど、検討したい。

部会長) 地域コーディネーターや防災分野で活動する方をまちコの方に参加していただくことも大事である。各課の調整により、地域活動に取り組む方が集まり、顔が見える関係づくりをし、それぞれの地域において連携できるような取り組みはできないのか。地域でも縦割りとなっている。顔が見える関係性を作り、連携していくような場づくりを通して、市として横につなぐことに取り組んでいただきたい。

(3つの場の再編)

委員) 現在、それぞれで行われている3つの場「しゃべり場」「つむぎ場」「まつり場」を再編する話が出ている。まちづくりに取り組む人は多数おり、まちコだけではない。横のつながりを作る上で、情報共有やスキル提供する場があると良い。

事務局) しゃべり場はコロナ禍で開催できず、参加者は減少している課題があった。つむぎ場はボラセンが主催、まつり場は行政事業に関する人が意見交換する場である。3つの場を再編していき、新しい場ができると良いと考えている。次年度に再編するのではなく、現在協議中である。

部会長) 再編する形が決まったら、委員会でも提案してほしい。

(協働の目標値について)

委員) 第7次総合計画では、基本方針5「市民と行政の信頼と協働で築くまちづくり」と協働に関する独立した章立てがあったが、第8次総合計画案ではそれがなくなった。目標数値は出ているのか。3月の議会が済んだら、推進委員会で共有することはできないか。

部会長) 推進委員会で報告をいただけるとよい。

(まちコの広報・啓発)

委員) ワールドデンに参加しており、まちコが存在を知られていないと感じた。市民に対して、まだ周知ができていないのではないかと。様々な活動を行っているが、市民に知られていないことや活かされていないことが残念である。

部会長) まちコの缶バッジやロゴを作成したが、活用しているのか。

事務局) 前回の住民会議では、ロゴを使ったたすきを使用した。缶バッジは新しい人に配布はできていない。

部会長) グッズやツールなど、まちコの周知が進むような工夫が重要である。

3. その他

(1) 市民協働課より連絡

【第3回共存・協働のまちづくり推進委員会】

- ・日時 3月22日(水) 午後3時00分から
- ・場所 刈谷市役所 3階 防災会議室